

授業科目(ナンバリング)	スクール(学校) ソーシャルワーク論 (DG312)			担当教員	梅野 潤子		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>この授業の目的は、子どもの学校教育を受ける権利を保障するために、子どもとその環境(家族・学校・地域等)と協働し生活支援を実践するスクールソーシャルワークについて、実践の基礎となる価値・知識・技術を学ぶことにある。また、ディプロマポリシーに掲げられる社会の課題に対する思考力・判断力・表現力を活用し、主体的に問題解決を行う力を養成するために、授業の展開においては、ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションを受講生が行う。その中で、子どもや家族・他職種等が理解することのできる表現方法を学びながら、スクールソーシャルワークの価値・知識・技術を受講生が自分の言葉で説明することも重視する。</p> <p>※スクール(学校) ソーシャルワーク課程履修予定者には、必修となる。</p>							①⑤⑦⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
専門力	子どもたちが抱える生活課題を踏まえ、スクールソーシャルワークの必要性について説明することができる。ゲストスピーカーに対し、子どもたちが抱える生活課題やそれに対する支援の現状等について質問することができる。			予習・復習の実施状況 第10回授業内での質疑応答の内容		20% 5%	
情報収集、分析力	授業内容を踏まえ、スクールソーシャルワーカーの役割について説明することができる。			第2回レポート		20%	
コミュニケーション力	授業内で、自分の意見を適切に伝え、他者の意見を聴くことができ、文章や図表等においても表現することができる。			ディスカッション内容 第15回成果物		10% 5%	
協働・課題解決力	支援過程における子どもの参加及び多職種協働の必要性や、そこでのスクールソーシャルワーカーの役割について説明できる。			第3回レポート		20%	
多様性理解力	学校現場から見える子どもの生活課題の実態について調べ、説明することができる。			第1回レポート		20%	
出席				受験要件			
合計				100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験は実施せず、レポート3回分60%、予習復習の実施状況20%、ディスカッション内容10%、第10回授業での質疑応答の内容5%、第15回成果物5%により評価する。レポート課題は、第3・10・14回の授業内で提示し、ポートフォリオにて提出する。また、授業の復習として、学んだ内容のまとめを課し、ポートフォリオにて提出をする。すべての提出物に対しては、次の授業内及びポートフォリオにてフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>子どものニーズや権利の観点から学校教育の意義を理解した上で、学校現場から見える子どもの様々な生活課題と、そこでのスクールソーシャルワーカーの役割について学ぶ。さらに、国内外のスクールソーシャルワーカーの歴史及び活動内容や、スクールソーシャルワークの実践事例について概説する。これらを通して、スクールソーシャルワークの価値・知識・技術を習得する。授業においては、受講生に意見を求めたり、グループディスカッションやグループワークを活用したりしながら、授業内容の理解を深める。さらに、動画視聴やインターネットを活用した情報検索など、ICTを活用して授業を実施する。また、佐世保市青少年教育センター等の地域の協力を得て、長崎県や佐世保市における子どもの置かれている環境と支援の実際を理解していく。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：山野則子・野田正人・半羽利美佳編(2016)『よくわかるスクールソーシャルワーク第2版』ミネルヴァ書房。 参考書：日本学校ソーシャルワーク学会編集(2008)『スクールソーシャルワーカー養成テキスト』中央法規。 指定図書：山野則子・野田正人・半羽利美佳編(2016)『よくわかるスクールソーシャルワーク第2版』ミネルヴァ書房。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内で、次回までの予習・復習を提示する。指定された内容を実施してくること。 ・出席は最低限のルールとする。 ・授業内での居眠りや私語、携帯電話の無断使用などは厳禁とする。また、それらの行為については、教員から注意し、その後も改善が見られない場合は、退室を求める。 							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション、 学校教育において満たされる子どものニーズと保障される権利	授業計画を示し、授業概要について説明する。子どもが学校に通うことによりどのようなニーズが満たされるのか、権利が保障されるのかについて、子どものニーズ論及び権利条約と照らして学ぶ。	予習：シラバスを読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
2	学校現場から見える子どもの生活課題①	学校だからこそ見える子どもニーズが満たされない・権利が保障されていない状況について理解する。不登校、家族の抱える問題（養育・経済等）を取り上げる。	予習：Ⅰ章 3 節, 5 節, 7-10 節を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
3	学校現場から見える子どもの生活課題②	学校だからこそ見える子どものニーズが満たされない・権利が保障されていない状況について理解する。特別支援ニーズ、行動上の問題、外国人の子どもの教育について取り上げる。第1回レポート課題を提示する。	予習：Ⅰ章 1 節, 2 節, 11 節を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
4	学校教育におけるソーシャルワークの必要性	子どもが安心して教育を受けるために、学校教育で生活支援を行うことの重要性和、その専門職の必要性について学ぶ。	予習：Ⅱ章 5 節を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
5	子どもの教育を受ける権利を護るスクールソーシャルワーカーの役割	子どもの教育を受ける権利を護るために、どのような価値・知識・技術を有する必要があるかについて理解する。	予習：Ⅱ章 1 節, 3 節, 4 節を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
6	海外におけるスクールソーシャルワークの歴史	スクールソーシャルワーカーのアイデンティティを理解するために、イギリス・アメリカにおけるスクールソーシャルワークの歴史を学ぶ。	予習：Ⅲ章 1 節を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
7	日本におけるスクールソーシャルワークの展開過程	日本においてどのような社会的背景のもとに、どのようにスクールソーシャルワーカーの実践と政策が展開されているのかを学ぶ。	予習：Ⅲ章 5 節, 6 節を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
8	スクールソーシャルワークの価値	スクールソーシャルワークにおいてどのような考え方が大切にされているのか（価値）について学ぶ。	予習：Ⅱ章 2 節を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
9	海外のスクールソーシャルワーカーの活動	実践のイメージを具体化するために、イギリスにおける教育ソーシャルワーカーの活動を紹介する。	予習：コラム 1 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
10	日本のスクールソーシャルワーカーの活動	実践のイメージを具体化するために、スクールソーシャルワーカーの活動を紹介する。（ゲストスピーカー：実務家） 第2回レポート課題を提示する。	予習：スクールソーシャルワーカーの活動内容について調べ、ポートフォリオにて提出する。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
11	スクールソーシャルワークにおける個別支援①	子どもの個別支援事例を活用し、アセスメントから支援計画に至る過程と各段階でのスクールソーシャルワーカーの役割について、実践モデルと結びつけながら解説する。	予習：Ⅶ章 1 節, 2 節を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
12	スクールソーシャルワークにおける個別支援②	子どもの個別支援事例を活用し、介入から評価に至る過程と各段階でのスクールソーシャルワーカーの役割について、実践モデルと結びつけながら解説する。	予習：Ⅶ章 3 節を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
13	スクールソーシャルワークにおける協働実践	ケース会議や資源開発等、スクールソーシャルワーカーが子どもや家族・学校・地域とどのように協働するのかについて学ぶ。	予習：Ⅶ章 4-7 節を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
14	スクールソーシャルワークにおけるマクロ実践	研修・スーパービジョン体制や政策提言等、スクールソーシャルワーカーによる社会に対する働きかけの方法について学ぶ。 第3回レポート課題を提示する。	予習：Ⅶ章 8-10 節を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。
15	スクールソーシャルワークの課題と展望	スクールソーシャルワークの抱える課題について理解する。 学修内容を統合するための課題を提示する。	予習：Ⅸ章を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて提出する。